



6万市民の赤色灯

逗子市消防本部 〒249-0005 逗子市桜山 2 丁目 3 番 31 号 046(871)4326 Fax 046(872)4330
E-mail yobou@city.zushi.kanagawa.jp <http://www.city.zushi.kanagawa.jp/syokan/syoubou/index2.html>

土砂災害に注意！！



がけ崩れや土石流などの土砂災害は、すさまじい破壊力をもつ土砂が一瞬にして多くの人命や家屋などの貴重な財産を奪ってしまう恐ろしい災害です。こうした災害は、台風や集中豪雨といった気象的条件が引き金となって発生するばかりではなく、傾斜が急な土地が多い日本では、地震後に起こるといった地形的条件によっても発生しやすい国土環境にあります。

過去 10 年間の全国における土砂災害発生件数をみると、平均して 1 年間におよそ 1,000 件もの土砂災害が発生しています。平成 22 年の土砂災害の発生件数は 1,128 件で、各地に甚大な被害をもたらしました。

国土交通省や各都道府県では、土砂災害による被害を少しでも防ぐため、砂防えん堤などの施設整備や警戒避難体制の整備などの対策を実施していますが、これらと同時に各自一人ひとりが土砂災害に対して日ごろから備えておくことが重要です。

避難方法について

《 がけ崩れからの避難方法 》

がけ崩れによる土砂は、斜面の高さの 2 倍の距離または 50 メートル程度まで届くと言われています。がけに割れ目が見えたり小石がばらばらと落ちてくるなどの前兆現象を発見したら、早めに斜面から遠くへ逃げるようにしましょう。



《 土石流からの避難方法 》

土石流は速度が速いため、流れを背にして逃げたのでは、追いつかれてしまいます。万が一遭遇した場合は、土砂の流れる方向に対して直角に、少しでも高い場所へ逃げるようにしましょう。



土砂災害から身を守るためには、災害が発生する前に避難する必要があります。しかし、万が一災害に遭遇してしまった場合のために、避難方法を覚えておきましょう。

日ごろの安全対策



- ◆ がけの上の大木は、短く切っておきましょう。
- ◆ 崩れそうなところは、柵や石積みで補強しておきましょう。
- ◆ 不安定な岩は取り除くか、落下防止の補強をしておきましょう。
- ◆ 水路を作って、雨水をがけに浸透させないようにしましょう。
- ◆ 擁壁などの構造物に異常があれば、速やかに修理しておきましょう。
- ◆ ビニールシートなどで斜面を覆い、雨水の浸透をできるだけ防いでおきましょう。



一般的に土砂災害発生と雨量の関係は時間 20 ミリ以上、また降り始めから 100 ミリ以上の降水量となったら注意が必要です。

9月9日は「何の日」?

皆さんは9月9日が何の日かご存じですか。

9（きゅう）と9（きゅう）で「きゅうきゅうの日」、すなわち9月9日は「救急の日」です。

「救急の日」は、救急業務及び救急医療に対して皆さんの理解と認識を深めていただくとともに、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に昭和 57 年に定められました。以来、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む1週間を「救急医療週間」として、全国各地において応急手当の講習会を中心とした救急に関する様々な行事が実施されています。

《 応急手当の重要性 》

突然の事故や病気などの場合、救急隊が現場に到着するまでの間に、救急現場に居合わせた人が、迅速な 119 番通報、適切な応急手当を速やかに実施することにより、傷病者の救命効果が一層向上します。

傷病者の救命のためには、救急現場に居合わせた人による応急手当、救急隊員の応急処置と搬送、医療機関での処置の連携がスムーズに行われることが不可欠です。

